

「地質の日」に 献血キャンペーン

ACTIVE KUMIAI



献血ルーム前で呼びかけをする組合員

5月10日は、明治9年に日本で初めての広域的な地質図「日本蝦夷地質要略之図」が作成され、また、明治11年の同日に地質調査を行う組織「内務省地理局地質課」が設置されたことに因み、「地質の日」とされています。

山梨県地質調査事業協同組合（萩原利男理事長・組合員6社）では、「地質の日」を「血・質の日」として

5月12日に献血キャンペーンを行った。

萩原理事長ほか組合員及び従業員の10名が、午前7時30分から甲府駅南口で、通勤・通学の人たちに献血の協力を呼びかける街頭キャンペーンを行った後、10時から甲府市丸の内日本赤十字社の献血ルームで、組合員企業の従業員らによる献血を行った。

組合の献血キャンペーン事業は昨年から行われており、2回目となる今回の献血には延べ48名が協力した。

萩原理事長は、当日はボーリング工場の現場から献血に駆けつけてくれた従業員もいて、忙しい仕事の合間にも協力を得られたことは大きい。組合では、来年度以降も献血以外にも様々な形で社会貢献活動を行っていくことを検討している。小中学生を対象とした地下水の大切な環境教育にも取り組んでいきたい。」と今後の抱負を語ってくれた。



献血に協力する組合員企業の従業員